

西南日本の民家庭園における維管束植物の追加・修正

著者	道下 雄大, 梅本 信也, 山口 裕文
引用	Scientific report of the Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University. 2008, 59, p.7-9
URL	http://doi.org/10.24729/00000697

西南日本の民家庭園における維管束植物の追加・修正 Additional note and erratum of vascular plant flora in the home gardens in Southwestern Japan

道下雄大・梅本信也*・山口裕文

(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科資源植物多様性学研究室；

*京都大学フィールド科学教育研究センター里域生態系部門)

要 旨

西南日本の民家庭園における維管束植物で未同定であった種を追補し、一部の記録を修正する。庭園の有用植物は、和歌山県紀伊半島南部では514種、静岡県伊豆半島では636種、長崎県平戸・松浦地域では649種となる。

Abstract

There were 514 species in Kii-peninsula, 636 species in Izu-peninsula and 649 species in Hirado-Matsuura district as useful garden plants in the rural hamlets in Japan by means of confirmation of picture records.

著者らは、和歌山県紀伊半島南部、静岡県伊豆半島、長崎県平戸・松浦地域の民家庭園における維管束植物相を報告したが(道下ほか 2004; 道下ほか 2005; 道下・山口2006)、一部についてその植物名と利用法を修正する。

調査地で撮影した証拠写真に基づいて石井・井上(1968-1971)、佐竹ほか(1981-1982)、佐竹ほか(1989)、塚本(1988-1990)を参照して記録の重複と文献間の不一致を検証し、調査地での聞き取り記録によって植物の利用法を精査した。

その結果、和歌山県の民家庭園(道下ら 2004)では8種、静岡県の民家庭園(道下ら 2005)では14種、長崎県の庭園(道下・山口, 2006)では1種を追加し(表1)、関連の種を削除する。

また種名と詳細情報を変更する必要があるものは、和歌山県では19種、静岡県では23種、長崎県では4種である(表2)。

利用法については、和歌山県のセンダングサ、トウバナ、カタバミ、ニワトコの4種を利用法無し(雑草)に、静岡県のフユノハナワラビを觀賞に修正する。したがって、有用植物は、和歌山県の民家庭園には518種、静岡県の民家庭園には636種、長崎県の民家庭園には649種分布することになる。

引用文献

- 石井林寧・井上頼数 1968-1971. 最新園芸大事典(1巻-7巻). 誠文堂新光社.
- 道下雄大・梅本信也・山口裕文 2004. 紀伊半島南部の民家庭園における維管束植物相. 大阪府大院農生学術報 56, 29-44.
- 道下雄大・梅本信也・山口裕文 2005. 伊豆半島の民家庭園における維管束植物相. 大阪府大院農生学術報 57, 33-56.
- 道下雄大・山口裕文 2006. 長崎県平戸・松浦地域の民家庭園における維管束植物相. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科学術報告 58, 13-37.
- 佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫 1989. 日本の野生植物 木本, 1巻-2巻. 平凡社, 東京.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 1981-1982. 日本の野生植物 草本, 1巻-3巻. 平凡社, 東京.
- 塚本洋太郎(監修) 1988-1990. 園芸植物大事典(1巻-6巻). 小学館, 東京.

表 1-1 新規に追加する種

種名 (和名/学名)	文献1 (和歌山県)				文献2 (静岡県)				文献3 (長崎県)							
	集落				集落				鉢比率	利用	集落					
	A	B	C	D	A	B	C	D			A	B	C	D		
アサギリソウ	<i>Artemisia schmidtiana</i>				0	1	0	0	100	観賞						
コダチダリア	<i>Dahlia imperialis</i>				0	1	0	0	0	観賞						
ゴールデンクラッカー	<i>Euryops virginicus</i>				0	0	1	0	0	観賞						
サンタンカ	1	0	0	0												
キソケイ	<i>Jasminum humile var. revolutum</i>				0	0	1	0	0	観賞						
コレウス	0	1	0	0												
ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia latifolia</i>				0	1	0	0								
ギョリュウバイ	<i>Leptospermum scoparium</i>				1	0	0	1								
ニワザクラ	0	0	0	1	2	0	0	0	0	観賞	1	0	0	0	0	観賞
イワヤツデ	<i>Aceriphyllum rosii</i>				0	1	0	0	0	観賞						
ヒマツリ	<i>Crassula erosula cv. Campfire</i>				0	0	1	0	100	観賞						
ルナリア	<i>Lunaria annua</i>				1	0	0	0	0	観賞						
ストック	<i>Matthiola incana</i>				1	0	0	0	100	観賞						
タンゲマル	1	1	0	1	0	1	2	3	100	観賞						
ギムノカリキウム属の一種	<i>Gymnocalycium sp.</i>				1	0	0	0	100	観賞						
マミラニア	3	5	0	4	2	3	3	4	67	観賞						
ヤマグルマ	<i>Trochodendron aralioides</i>				0	0	1	0								
トラノマキ	<i>Gasteria gracilis</i>				0	0	1	1	50	観賞						
タチボウキ	<i>Asparagus myriocladus</i>				0	0	1	0	100	観賞						

文献1：道下雄大・梅本信也・山口裕文 2004.

文献2：道下雄大・梅本信也・山口裕文 2005.

文献3：道下雄大・山口裕文 2006

表2 種名および詳細情報の修正

種名 (和名/学名)	修正前の種名	文献1	文献2	文献3
イエギク	<i>Chrysanthemum morifolium</i>	○	○	
ハマギク	<i>Chrysanthemum nipponicum</i>		○	
ヒメヒマワリ	<i>Helianthus tuberosus</i>		○	
ムギワラギク	<i>Helichrysum bracteatum</i>	○		
フキ (3倍体)	<i>Petasites japonicus</i>	○	○	
アルペンブルー	<i>Campanula poscharskyana</i>		○	
ライラック	<i>Syringa vulgaris</i>	○		
ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>		○	
ブルーエルフィン	<i>Clerodendrum ugandense</i>	○		
ニオイゼラニウム	<i>Pelargonium × asperum</i>	○	○	
ツゲ	<i>Buxus microphylla</i>	○	○	
ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i>		○	
ヒメザクロ	<i>Punica granatum var. nana</i>	○		
メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i>	○		
ハナカイドウ	<i>Malus halliana</i>		○	
ヒマラヤトキワサンザシ	<i>Pyracantha crenulata</i>		○	
オボロヅキ	<i>Graptopetalum paraguayense</i>	○	○	
ツメレンゲ	<i>Orostachys japonicus</i>		○	
ヤマツツジ	<i>Rhododendron obtusum var. kaempferi</i>			○
オオアラセイトウ	<i>Orychophragmus violaceus</i>	○		
シキザキベゴニア	<i>Begonia semperflorens</i>	○	○	
レッドキャンピオン	<i>Silene dioica</i>		○	
ハクウンカク	<i>Marginatocereus marginatus</i>		○	
タンシウチワ	<i>Opuntia vulgaris</i>		○	
トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i>		○	○
ヤマグルマ	<i>Trochodendron aralioides</i>		○	
ヤマトリカブト	<i>Aconitum japonicum</i>		○	
センニンソウ属の一種	<i>Clematis</i> sp.	○		
カトレア属の一種	<i>Cattleya</i> sp.	○		
ホザキアヤメ	<i>Babiana stricta</i>	○		
ダッチアイリス	<i>Iris</i> cv.	○	○	
スイセンアヤメ	<i>Sparaxis tricolor</i>	○		
スギノハカズラ	<i>Asparagus densiflorus</i>		○	
シノブボウキ	<i>Asparagus plumosus</i>	○	○	
ドイツスズラン	<i>Convallaria majalis</i>	○		
ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva var. kwanso</i>			○
ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i>			○

文献1：道下雄大・梅本信也・山口裕文 2004.

文献2：道下雄大・梅本信也・山口裕文 2005.

文献3：道下雄大・山口裕文 2006.

○：関連する文献

(2008年5月10日受領；2008年6月10日受理)